

2021年度 第1回細胞検査士会役員会議事録

日時：第62回日本臨床細胞学会総会春期大会

2021年6月4日（金） 15：00～15：50 現地&Web会議

場所：幕張メッセ国際会議場 3F 301 第4会場

出席者：

【会長】伊藤仁

【副会長】小松京子, 阿部仁

【幹事】平田哲士, 仲村武, 棚田諭, 原田仁稔, 三宅真司, 遠藤浩之, 澁木康雄, 加戸伸明, 横山俊朗, 山城篤, 阿部英二, 田路英作, 片山博徳, 河原明彦, 河村憲一, 木下勇一, 小山芳徳, 羽原利幸, 藤井和晃, 藤岡学, 南部雅美, 三浦弘守, 有田茂実, 今枝義博, 柿沼廣邦, 岸本浩次, 笹井伸哉, 服部学, 廣井禎之, 藤田勝, 町田知久, 松本慎二, 丸川活司

【選挙管理委員長】才藤純一

【監事】石井保吉, 鳥居良貴

【陪席】青木裕志, 内山勲, 佐々木健司, 田口雅子

欠席者：古田則行, 安達博成, 及川洋恵, 小林幸弘, 丸田淳子, 土田秀, 姫路由香里

会の成立：役員45名中38名出席, 委任状提出7名で会が成立した。

議長：伊藤会長が平田総務委員長を指名。

議事録作成：棚田諭, 町田知久

議事録署名人：伊藤仁, 石井保吉

I. 開会

II. 会長挨拶

皆様, コロナ禍にも関わらず, 現地およびWeb役員会にご出席頂きありがとうございます。過日の第59回日本臨床細胞学会秋期大会の参加者数は6,629名で, お陰様で盛会裏に終了したことをご報告致します。沢山の皆様方にご参加・ご協力をいただき, 誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今年役員改選の為, 今回は現役員に新役員が陪席しての役員会とさせていただきます。

石井前会長から引き継ぎ, 3期6年間, 細胞検査士会会長を勤めさせていただき, 今回が会長として最後の役員会となります。任期中, 細胞検査士会創立50周年記念事業や第59回日本臨床細胞学会秋期大会主催など多くの事業が皆様方のお陰で無事終えることができ, 心より御礼申し上げます。退任後も細胞検査士会幹事・日本臨床細胞学会理事として, 細胞検査士会の将来と発展に縁の下の力持ち的な役割で貢献し, 特に人材育成に

注力して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

臨床細胞学会関連の連絡事項

- ・日本臨床細胞学会理事選挙に伊藤仁氏, 阿部仁氏, 渋谷康雄氏の3名が当選した
- ・今年度の細胞検査士養成講習会は中止
- ・第 82 回細胞検査士ワークショップ (Web 開催) 実施委員長 鳥居良貴氏
- ・第 81 回細胞検査士教育セミナー (Web 開催) 実施委員長 三宅真司氏
- ・第 54 回細胞検査士資格認定試験 (手技・面接試験は行わない)
 - 1 次試験 (大阪) 10 月 30 日 (土) CIVI 研修センター新大阪東
 - 2 次試験 (東京) 12 月 4 日 (土)・5 日 (日) 虎ノ門ヒルズフォーラム

III. 議事録確認

2020年度第2回細胞検査士会役員会議事録, 2020年度細胞検査士会定時総会議事録を確認した。

IV. 報告事項

議案書IV. 報告事項の内容が報告された。

1. 物故会員報告 (町田庶務委員) 物故会員に黙祷を捧げた。
2. 2021年度事業計画及びこれに伴う予算書 (委員長会議で確認済み)
3. 2021-2022年度会長・副会長選挙結果と当選証書授与 (才藤選挙管理委員長)
4. 2021-2022年度委員会について

V. 議案

- 1 号議案 : 2020年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 **可決・承認**
会計報告 : 仲村経理委員長 監査報告 : 石井監事
次回事業報告から各委員会業務分担要綱に基づき報告することを確認
- 2 号議案 : 委員会業務分担要綱の変更 **可決・承認**
- 3 号議案 : 役員会運営に関する細則の変更 **可決・承認**
- 4 号議案 : 電子的通信手段の利用に関する細則の変更 **可決・承認**

VI. 確認・検討事項.

1. 監事候補者の推薦
石井保吉氏, 鳥居良貴氏が2021 - 2022年度監事に推薦された。
2. 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策について
正会員割合は14%程度と横ばい状態であり, 引き続き準会員から正会員への変更を働きかける。

3. Love49 事業について

今年度も街頭活動無し, 年度内にニュースレターやサンプル品の配布予定
長野県・群馬県のLove49活動が第8回子宮の日全国アクションで報告される.

4. 選挙管理委員会構成員の報酬について

報酬の支払いが承認された.

5. Web 会議に関する細則の変更, 情報委員会の内規を作成する.

VII. その他

子宮頸がん検診について

啓発活動にYouTubeの活用が提案された.

ガイドライン更新に伴い, HPV・細胞診併用検診から単独検診に変更の可能性があり, 役員会で今後の動向に注視し議論する.

役員選挙立候補者が少ない現状を危惧する意見があり, 若い世代が立候補し, 活躍するシステムの構築を目指す.

VIII. 閉会

以上